

議案第 38 号

松前町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
制定について

松前町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例を次のように
制定するものとする。

令和 2 年 6 月 10 日提出

松前町長 石 山 英 雄

松前町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

松前町職員の特殊勤務手当に関する条例（昭和３２年松前町条例第１４号）の一部を次のように改正する。

附則を附則第１項とし、同項に見出しとして「（施行期日）」を付し、附則に次の１項を加える。

（防疫等業務手当の特例）

- ２ 新型コロナウイルス感染症（新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令（令和２年政令第１１号）第１条に規定するものをいう。）に係る第３条第１号の規定の適用については、同号中「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成１０年法律第１１４号）第６条第２項及び第３項」とあるのは、「新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令（令和２年政令第１１号）第１条」と、「１，０００円」とあるのは「３，０００円（新型コロナウイルス感染症の患者若しくはその疑いのある者の身体に接触して又はこれらの者に長時間にわたり接して行う作業その他町長がこれに準ずると認める作業に従事した場合にあっては、４，０００円）」とする。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、令和２年６月１日から適用する。

松前町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正に係る新旧対照表

現 行	改 正 案
<p>第3条 前条の特殊勤務手当は次に定めるところによつて支給する。</p> <p>(1) 防疫等業務手当 防疫等業務手当は、職員が、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条第2項及び第3項に定める感染症（以下「感染症」という。）が発生し又は発生するおそれのある場合において、感染症患者若しくは感染症の疑いがある患者の救護、感染症の病原体の付着した物件（付着の疑いのある物件を含む。）の処理作業に従事したときに、その従事した日1日につき1,000円を支給する。</p> <p>(2)～(3) 略</p> <p>附 則</p> <p>この条例は、公布の日から施行する。</p>	<p>第3条 前条の特殊勤務手当は次に定めるところによつて支給する。</p> <p>(1) 防疫等業務手当 防疫等業務手当は、職員が、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条第2項及び第3項に定める感染症（以下「感染症」という。）が発生し又は発生するおそれのある場合において、感染症患者若しくは感染症の疑いがある患者の救護、感染症の病原体の付着した物件（付着の疑いのある物件を含む。）の処理作業に従事したときに、その従事した日1日につき1,000円を支給する。</p> <p>(2)～(3) 略</p> <p>附 則</p> <p><u>(施行期日)</u></p> <p>1 この条例は、公布の日から施行する。</p> <p><u>(防疫等業務手当の特例)</u></p> <p>2 <u>新型コロナウイルス感染症（新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令（令和2年政令第11号）第1条に規定するものをいう。）に係る第3条第1号の規定の適用については、同号中「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条第2項及び第3項」とあるのは、「新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令（令和2年政令第11号）第1条」と、「1,000円」とあるのは「3,000円（新型コロナウイルス感染症の患者若しくはその疑いのある者の身体に接触して又はこれらの者に長時間にわたり接して行う作業その他町長がこれに準ずると認める作業に従事した場合にあっては、4,000円）」とする。</u></p> <p>附 則 この条例は、公布の日から施行し、令和2年6月1日から適用する。</p>

	現 行	改 正 案
	<p>現行の第 3 条</p> <p>第 3 条 前条の特殊勤務手当は次に定めるところによつて支給する。</p> <p>(1) 防疫等業務手当</p> <p>防疫等業務手当は、職員が、<u>感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 1 0 年法律第 1 1 4 号）第 6 条第 2 項及び第 3 項に定める感染症（以下「感染症」という。）が発生し又は発生するおそれのある場合において、感染症患者若しくは感染症の疑いがある患者の救護、感染症の病原体の付着した物件（付着の疑いのある物件を含む。）の処理作業に従事したときに、その従事した日 1 日につき 1, 0 0 0 円</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____を支給する。</p> <p>(2) ～ (3) 略</p>	<p>附則第 2 項の規定による読み替え後の第 3 条 （新型コロナウイルス感染症）</p> <p>第 3 条 前条の特殊勤務手当は次に定めるところによつて支給する。</p> <p>(1) 防疫等業務手当</p> <p>防疫等業務手当は、職員が、<u>新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令（令和 2 年政令第 1 1 号）第 1 条_____に定める感染症（以下「感染症」という。）が発生し又は発生するおそれのある場合において、感染症患者若しくは感染症の疑いがある患者の救護、感染症の病原体の付着した物件（付着の疑いのある物件を含む。）の処理作業に従事したときに、その従事した日 1 日につき 3, 0 0 0 円（新型コロナウイルス感染症の患者若しくはその疑いのある者の身体に接触して又はこれらの者に長時間にわたり接して行う作業その他町長がこれに準ずると認める作業に従事した場合にあっては、4, 0 0 0 円）</u>を支給する。</p> <p>(2) ～ (3) 略</p>
説明	<p>特殊勤務手当のうち、防疫等業務手当は、条例第 3 条第 1 号に定める「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 1 0 年法律第 1 1 4 号）」第 6 条第 2 項及び第 3 項に規定する感染症の処理作業に従事した場合に当該手当を支給することとしておりますが、新型コロナウイルス感染症は「新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令（令和 2 年政令第 1 1 号）第 1 条により「指定感染症」と規定され、国家公務員も当該感染症の処理作業に従事した場合に特殊勤務手当を新たに支給することとしたため、当町においても国家公務員と同様に当該手当を新たに支給することができるようにするため、条例を改正しようとするものであります。</p>	

※ が改正部分